

## 第1回兵庫県立大学女子会

学部 25回 森田昌子

2023年11月18日(土)、12:00より三宮のレストラン「クアルト」にて、1回目の兵庫県立大学女子会を開催しました。参加者数は20名。内訳は淡水会14名、けやき会(看護大学)4名、ゆりのき会(姫路短期大学)2名でした。姫路工業大学の同窓会である姫路工業倶楽部からは、残念ながら参加者はありませんでした。

殆どの方が初対面でしたが、和気あいあいと和やかに楽しく過ごされていました。女子のコミュニケーション能力の高さを改めて強く認識しました。

私が女子会を立ち上げようと思ったのは、淡水会大阪支部長を拝命した8年前です。総会に参加される方は高齢者が多く、先行きが不安でした。淡水会を若返らせ活性化するにはどうしたらよいのか。その対策の一つとして考えついたのが淡水女子会の立ち上げでした。

「女子会ができれば、総会に参加する女子も増える。そうすれば、女子につられて男子の参加者も増えるのではないか。」私の基本構想はこうでした。

2018年11月に淡水女子会を立ち上げました。参加者はわずか6名でしたが、2019年9月に2回目の女子会を開催し、その後順調に続けるはずが、コロナに行く手を遮られ、3回目は2022年12月まで待たなければなりませんでした。

この間に、賢人会や奈良支部の総会にお邪魔した折に、淡水会以外のOGにお会いする機会を得ました。そのときに、淡水女子会を兵庫県立大学女子会に拡大すれば、もっと楽しい女子会になるのではと思いつきました。

2022年12月、賢人会でお会いした看護学部副学長の坂下玲子先生に県大女子会構想についてご相談したところ快くご賛同下さり、私はがぜんその気になりました。夏頃からそろそろ活動開始と思いながらも、県大女子会立ち上げ構想を他学部の同窓会にご案内し始めたのは開催の2ヵ月くらい前でした。十分な周知期間ではありませんでしたが、淡水会のみならず、けやき会やゆりのき会の皆様にもご協力頂き、目標の20名を達成することができました。

学んだことも、経験したことも、仕事の内容等も様々な20名が、お互いに新たな刺激を受けてパワーアップされたのなら、県大女子会を立ち上げた目的がまずは達成されたものと安堵しています。唯一最大の心残りは、集合写真を撮り忘れたことです。

県大女子会も淡水女子会も息長く続けていきたいと思えます。そしてそれが、女子会の究極の目的である同窓会の活性化につながれば、これ以上の喜びはありません。